

学年・教科・担当者	3年 理科B	戸島 美佳
-----------	--------	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	単元4 地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き ・太陽の黒点の観察	・黒点の継続観察から、太陽が球形で、自転していることを見いだす ・透明半球を用いて、太陽の1日の動きを観察し、地球の自転と関連付けて規則性を見いだす
	5	・太陽の1日の動き ・地球の自転の方位、時刻	・宇宙から見た地球上の各地点の方位が、自転とともに変化すること、太陽との位置関係により時刻が決まることを理解する
	6	・星の1日の動き ・天体の1日の動き	・星の1日の動き方について、東西南北のそれぞれの方位における規則性を見いだす ・天体、太陽、地球の位置関係を代表的な星座の見える時期と関連付けて理解する
	7	・地軸の傾きと季節の変化	・地球が地軸を傾けながら公転することで、季節ごとに太陽の光の当たり方が変わることを見いだす
2	9	第2章 月と金星の見え方 ・月の満ち欠け ・金星の見え方	・月の満ち欠けのしくみについて、月の公転と関連付けて理解する ・太陽、地球、金星の位置関係によって、金星の見える位置や時刻、形が変化することを理解する
	10	・日食と月食 第3章 宇宙の広がり ・太陽系の天体 ・宇宙の広がり	・日食や月食が起こるときの、太陽、地球、月の位置関係について理解する ・太陽系の構成、惑星、衛星、すい星などの天体の特徴について理解する ・宇宙の構造の特徴を考え、宇宙のスケールを実感する
	11	単元5 地球と私たちの未来のために 第1章 自然の中の生物 ・生態系 ・生態系における生物のはたらき ・生態系と炭素の循環	・生態系において、生物がどのようなはたらきをしているのかを理解する ・炭素は生態系の中をどのように循環しているか理解する
	12	第2章 自然環境の調査と保全 ・身近な自然環境の調査 ・人間による活動と自然環境 ・自然環境と開発と保全	・身近な自然環境にはどのような生物がいて、環境とどのように関わっているかを理解する ・人間は自然環境にどのような影響を与えているか、自然環境を保全するためにどのような活動が行われているか理解する
3	1	第3章 科学技術と人間 ・様々な物質とその利用 ・カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み	・日常生活での使用経験をもとに、素材や製品がどのように変わったか理解する ・カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みや、様々な発電方法の長所や短所について理解する
	2	・科学技術の発展 終章 持続可能な社会のために ・人類の活動と地球環境	・科学技術の利用のあり方について、正負の両側面から捉え、多様な視点で考える ・地球環境の変化について科学的に理解し、自分の考えをもつことができる
	3	・持続可能な社会と科学技術	・持続可能な社会を理解し、どのように行動すれば持続可能な社会を実現できるか自分の考えをもつことができる

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト・小テスト・実験レポート・ワークシート
思考・判断・表現	定期テスト・小テスト・実験レポート・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	授業観察・実験レポート・ワークシート・提出物